

いつまでも健康で住み続けられる、住みたくなるまち

広報とえだ

Soeda
Public
Relations



コトバをカタチに 久保田町政始動

8月24日、第33代添田町長の久保田実生町長^{くぼたみしょう}が住民の皆さんや職員に拍手で迎えられ、初登庁しました。その後行われた就任式で町長は職員に対し「町の現状は人口減少、高齢化、担い手不足など多くの課題を抱えています。状況が20年前、10年前から刻々と変化しています。状況が変わっているからこそ、良いものは守り、改めるものは改め、町の経営も変化に対応していかなければなりません。町の役割は住民の皆さんの力をしっかりと引き出すことです。そして行政の中心にいる私の役目は町職員の声を聴き、強みを引き出すことだと思っています。みんなでまちづくりを実感できる町にしましょう」とあいさつしました。



↑ 就任式で町職員に訓示を行う久保田町長㊟

SEP. 2026

9

No. 779

オークホールで添田町青少年グローバル人材育成事業報告会を行います

添田町青少年グローバル人材育成事業は子どもたちの国際感覚を養い、将来の地域づくり・まちづくりに積極的に取り組む人材育成を目的に行っています。海外でのホームステイや様々な体験を通じて得た学びや気づき、それらを現在添田町が抱える諸問題にどう活用するかなどを発表する事業報告会を開催します。どなたでも参加可能です。

ニュージーランドでの貴重な体験を語る子どもたちの声をぜひお聞きください。

▶とき 9月28日(月)19時～20時40分
▷19:00 開会 ▷19:20 個人発表
▷20:00 グループ発表 ▷20:20 まとめ

▶ところ オークホール研修室1

▶定員 50人程度

雄大な自然で感じた成長の一步
心に残るニュージーランドの記録

ニュージーランドで先住民マオリ族の伝統などに触れ、牧場でのホームステイでは英語での積極的なコミュニケーションを行い、多くを感じ、学び、楽しみ、たくましくなって帰国した7人の中学生。参加した生徒に海外研修への志望動機や現地で心がけたこと、自分が感じた変化などを聞きました。写真はニュージーランドに息づく、ラグビーの強豪オールブラックスが試合前に行うことで有名なマオリ族の伝統舞踊「ハカ」のポーズです。

海外の雄大な自然を体感

添田中学校2年 **にしだ みゆ**
西田 美結

事前研修を重ねる中で、ニュージーランドと日本の自然の違いに興味を持つようになりました。衝撃だったのは、観光地のロトルアにある山頂からロトルア湖や街並みを一望できる展望施設スカイラインです。木々に囲まれた英彦山やスロープカーと違い、自然と街の暮らしが一つの景色としてつながって見え、とても明るく感じました。大切なのは自然の量ではなく見せ方だと気づきました。添田でも町を一望できる場所を探し、新しい魅力として発信したいです。



海外で苦手を克服

添田中学校2年 **なかむら ゆうな**
中村 悠愛

自分に自信がなく、人とコミュニケーションを取ることが苦手だった私は、少しでも得意になろうと思い参加しました。いざニュージーランドでのファームステイでホストファミリーに質問され、どう返せば良いかと戸惑いましたが知っている単語を言うと理解してくれ、そこから私は何かを言ってみる挑戦の大切さに気づくことができました。この研修で、自分から人に話しかけることができました。また、これからも様々なことに挑戦を続けていきます。



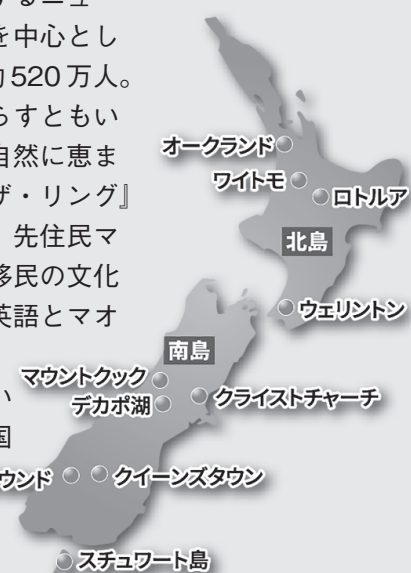
海外で学んだ積極性

添田中学校2年 **ひらつか れいか**
平塚 玲華

自分から積極的に行動できる人になりたくて参加しました。事前研修では、自分から積極的に行動することを意識しました。日本と全く環境が違う海外では、初めは自分から行動することが難しかったですが、相手から積極的に話かけてくれるので、自分からも話やすくなり、ジェスチャーを交えながら質問できるようになりました。研修を通して、前よりも自分から積極的に行動できるようになりました。今後は学校の授業でも、自分から発表していきます。



南半球のオセアニアに位置するニュージーランドは、北島と南島を中心とした美しい島国です。人口は約520万人。人間より多くの羊や牛が暮らすともいわれ、山々や湖など雄大な自然に恵まれ、映画『ロード・オブ・ザ・リング』のロケ地としても有名です。先住民マオリの伝統や文化と英国系移民の文化が共存する多文化の国で、英語とマオリ語などが使われています。季節は日本と逆で、飛べない固有種の鳥「キーウィ」は国鳥として親しまれています。



挑戦することの楽しさ

添田中学校3年 **はまもと たいせい**
濱本 帝惺

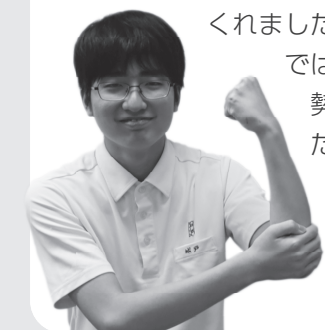
私はこの研修で自分から行動する力をつけたと思います。現地では思っている以上に誰も助けてくれませんでした。自分で行動を起こさないといけない環境におかれたおかげで、たくさんの人に話しかけることができました。現地の人々は親切で面白い人ばかりだったので、また話しかけてみようとも思いました。この研修を通して、挑戦することの楽しさを知りました。今後は何事にも率先して挑戦していきます。



言葉よりも姿勢が大切

添田中学校3年 **きと りゅうのすけ**
城戸 隆之介

英語力を高めたくて参加した私は、ファームステイで英語だけでは思いが伝わらない場面に何度も出会いました。どうすれば分かってもらえるか考えた結果、思い切ってジェスチャーを交え、相手は笑顔で「ナイス!」と返してくれました。伝える力とは言葉の量ではなく、伝えようとする姿勢そのものだと感じました。海外での経験を糧に、これからは学校でも地域でも、自分から一歩踏み出して人と関わっていきます。



生活に息づく文化を体験

添田中学校3年 **もりた りゅうのすけ**
森田 龍乃介

初めは、海外に行くことに対して不安がありましたが、海外の文化に触れたいと思い参加しました。実際にニュージーランドに行ってみると現地では、できるだけ英語を使って生活し、様々な人と話し、文化について聞き、交流してきました。伝統的な舞踊であるハカや、お祈りが生活に取り入れられて驚きました。今回の研修で、挑戦しないことがとてももったいないと感じました。今後は、今まで以上に色々なことに積極的に挑戦したいと思います。



悔しさの裏にある充実感

添田中学校3年 **いもと たいち**
井元 太一

海外で新しいことに挑戦したいと思いこの研修に参加しました。一番印象に残っているのは、オークランド散策のときに、海洋博物館で働いている方に質問したことです。勇気を出して話しかけ、質問したところ答えてくれましたが、相手の英語がうまく聞き取れず、悔しい思いをしました。けれど悔しい思いと同時に、話しかけるといふ挑戦ができたことに充実感を得られました。これからも挑戦を続け、英語の勉強も続けていきたいと思っています。





身近なまちの話題について情報をお寄せください。
広報紙に掲載された写真は差し上げますので、お気軽に問い合わせください。



笑顔でつながり深めた友情と絆 北海道美深町教育交流受入事業

7月28日から31日までの3泊4日の日程で、姉妹町・北海道美深町の小中学生8人が添田町でホームステイを行いました。対面式では緊張と、約12時間の移動の影響から疲れ気味だった子どもたち。しかし、受け入れ家庭の温かい迎え入れですぐに笑顔に。ホームステイ中は、受け入れ家族の子どもたちと篠崎川魚店でヤマメのつかみ取りや、添田町めんべい工場でめんべいの手焼き体験、福岡市内で水族館見学などを体験。さまざまな思い出を共有する中で、地域を越えた友情と絆を深めていきました。来年度は参加者を新たに募集し、美深町でのホームステイを行う予定です。



↑30日にヒシミツで行われたお別れ夕食会。受入から3日後にもかかわらず、すべての家庭が仲良しに

夏の夜を彩る笑顔に包まれた夜祭り 夏の夜祭り2026

8月22日、道の駅歓遊舎ひこさんで夏の夜祭り2026が開催されました。今年も物産館前の駐車場にヤマメの塩焼き、射的などが楽しめる屋台や、クレープ



↑日が落ちるにつれて、人がどんどん増えていきました

などのスイーツが揃うキッチンカーなどが並び、ステージでは町出身のヒップホップクルーO. A. K L A Yなどが夜祭りを盛り上げ、多くの人でにぎわいました。

気力と脚力の限界に挑む

第8回英彦山参道駆け上がり大会

8月11日、英彦山参道駆け上がり大会が開催されました。8回目を迎えたこの大会は、英彦山神宮奉幣殿の再建400年と山の日の制定を記念して始まったもので、銅鳥居から英彦山神宮奉幣殿までの約800m、高低差180mの石段が続く参道を駆け上がる過酷なレースです。今年は県内外から中学生以上の209人が参加し、最高齢は82歳。スタート直後は笑顔を見せていた参加者もゴールが近づくとつれぬ表情を浮かべる場面も見られました。参道沿いから「頑張れ」と声援が送られる中、次々と完走しました。総合優勝は5分51秒86を記録した後藤大輝さん(福岡市)でした。



↑銅鳥居から年齢別に次々とスタート



↑たくさんの声援を受け、力を振り絞りゴール



↑見事、総合優勝を飾った後藤さん④

知ることから始まる、差別をなくす第一歩 人権講演会

オークホールで7月29日、西日本新聞社論説委員の前田隆夫さんを講師に人権講演会が開かれました。「差別の現実に深く学ぶ」と題した講演で前田さんは、

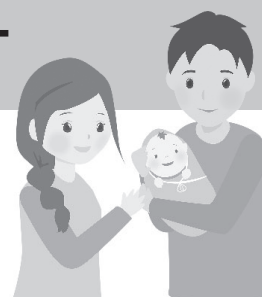


↑「人が作った差別は、人が根絶できるはず」と話す前田さん

ネットから拡散される差別の流布に裁判所が「差別されない権利」を認めたことや、身の周りにある差別を知り、理解し、なくす行動をすることの大切さを訴えました。

お子さんが1歳になる誕生日の前月までが対象です

育児中の国民年金保険料が免除されます



子育て世帯の経済的負担を軽減するため、子どもを養育する国民年金第1号被保険者の人を対象に、子どもが1歳を迎える前月までの間、国民年金保険料が免除される制度が10月から始まります。免除された期間は保険料を納めた期間として、将来の年金額に反映されます。

図 役場住民課保険年金係 (☎82-5966)

◎対象者

1歳になるまでの子を養育する国民年金第1号被保険者(20歳~60歳の自営業者・農業者・学生・無職の人)
※子と親子関係が継続しており、子と同一住所であることが必要です。所得要件はありません。

◎対象期間

養育している子が1歳になる誕生日の前月まで

◀育児免除のイメージ▶

	出産日 ▼					1歳未満の子どもが 前月(12月分)まで ▼	
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	12月
母親	産前産後免除期間 ※出産予定月または出産月の翌月から4か月間				育児免除期間		
父親 (養父母)		育児免除期間					

◎申請方法

▶スマートフォンから電子申請 電子申請の場合は、添付書類は必要ありません。24時間365日いつでも電子申請が可能です。

▶役場窓口で申請 10月1日から役場住民課保険年金係で申請できます。マイナンバーカードを持参ください。

BRTひこぼしラインは今年で開業3周年

3歳を迎える お子さんの写真を募集します

日 田彦山線BRTひこぼしラインの開業3周年を記念して、BRTひこぼしラインと同じ「3歳」になるお子さんの写真を募集します。お寄せいただいた写真はすべてBRT車内に展示します。応募者の中から抽選で素敵なプレゼントも用意していますので、ぜひ応募してください。詳しくは福岡県のホームページを確認ください。

◎募集期限 9月30日(水)

◎応募方法 応募フォームに必要事項を入力し、写真データをアップロードしてください

図 日田彦山線沿線地域振興事業実行委員会(☎092-643-3180)



↑福岡県HP



↑応募フォーム

家族も自分も大切に

男女共同参画推進セミナーを開催します

介 護は女性の役割という固定観念をなくし、家族みんなで支え合うための知識や工夫を学びませんか。男性の介護参画や介護する人自身のセルフケア、仕事と両立するためのヒントを得る講座です。

◎とき 10月17日(土) 10時~11時30分

◎ところ オークホール 研修室

◎講座名 男女で共に支える介護

~抱え込まないためのメンタルケア~

◎講師 医療法人昌和会見立病院 熊本勝治さん

◎定員 先着20人/参加無料

◎申込方法 役場総務課男女共同参画推進係(☎82-1231)に電話

◎申込期限 10月2日(金)

図 役場総務課男女共同参画推進係(☎82-1231)



9月生まれ
HAPPY
BIRTHDAY

おめでとう



こもかた めい
菰方 芽依ちゃん
9月19日生 ②・上落合一

一度つかまるとはなれない『こなきじい』パパママへの効果は抜群だ！これからも楽しい思い出つくりうね♪

10月生まれの
締め切りは
9月11日(金)です。



1歳～6歳を迎えるお子さん大募集！

- ①お子さんの写真 ②お子さんの氏名 ③名前の読み方
④誕生日 ⑤年齢 ⑥行政区 ⑦メッセージ(50文字以内)
⑧保護者の連絡先をメールで送信してください。

送信先 koho@town.soeda.fukuoka.jp

☎ 役場総務課広報・秘書係 (☎82-4000)



地域子育て支援センター
9月の予定

★サークル「めだかっこ」(毎週火曜日)

▷8日／親子リトミック(給食) ▷15日
／敬老の日プレゼント製作(給食) ▷29日／お絵
描き遊び(給食)

★サークル「おんぶに抱っこ」(毎週金曜日)

▷4日／運動遊び ▷11日／手芸くらぶ ▷18日
／親子健康教室・おっぱい相談・虹の会読み聞かせ
▷25日／7・8・9月生まれの誕生日会&ミニ運動
会

★ベビーサークル「あっぷっぷ」

▷16日／虹の会読み聞かせ

★マタニティサークル「ポコ・ア・ポコ」

▷10日

◀10月の予告▶

▷21日／観劇会inオークホール

おんぷらんと「こびとのサーカス」

※詳しくは「おんぶにだっこ通信」をご確認ください。
また、公式LINEではおんぶに抱っこ
通信やイベントのお知らせなどを配信し
ています。ぜひ友だち追加してください。



☎ 添田町地域子育て支援センター (☎85-0888)

楽しいから始まった挑戦 全国で輝く3位

岐阜Bluvicドリームカップ2026



↑報告に訪れた(左から)顧問の津村先生、永田さん、寺西町長、近藤校長

高校生からバドミントン競技を始めた生徒が出場するバドミントンドリームカップの福岡県予選で、田川高校2年生の永田皓太郎さん(上中元寺)が優勝し、7月23日、24日に大阪で行われた全国大会に出場、3位に輝いたことを7月29日、寺西町長に報告しました。小学生のときはドッチボール、中学生はソフトテニスをしてきた永田さんは、高校の体験入部でバドミントンの面白さを体験したことから入部を決め、練習に励み実力をつけてきました。県大会は緊張で実力が発揮できなかったと話す永田さんは、「全国大会では周りが強く、実力以上の力を出せました。仲間のサポートもあり、不利な状況になってもメンタルを落とさずに戦えたことが大きかったです。バドミントンは競技歴が長いほど有利と言われていいますので、次は部内のレギュラー争いに勝ち、個人戦で県大会出場を目指します」と力強く話してくれました。

楽しい体験、笑顔あふれる夏休み

児童館わくわく☆イベントデー

7月18日から始まった夏休み。町立児童館では夏休み期間中にたくさんのイベントを開催しました。集中力を養う木製3Dパズル作成やモチモチした独特の感触を楽しむスクイーズづくり、そして8月22日には児童館夏まつりが開かれました。幼児から楽しめるヨーヨー釣りやわなげなどが行われ、児童館は子どもの笑い声で溢れていました。



↑13時30分の開場前に長蛇の列ができ、たくさんの児童が遊んだ夏まつり

まちのホットNews

1日も早く日常を取り戻すための支援活動

令和8年熊本地震復興支援

7月28日16時27分に発生した熊本地震。添田町でも震度3を観測したこの地震は、マグニチュード7.1、宇城市と八代郡氷川町で最大震度7を観測しました。熊本県では28日から多くの避難所が開設、家屋の倒壊や断水も多く報告されました。町では日本水道協会からの支援依頼に応じ地震発生2日後の30日から8月4日までの間、職員21人を派遣し給水車による避難所や断水地域の給水ポイントでの水の配給、透析治療を実施している医院へ給水支援を行いました。加えて8月13日から1週間、熊本県宇土市に商工観光振興課の美佐紗雪梨主事を派遣。現地で罹災証明書の交付業務などを行い、被災者を支援しました。また、7月31日から役場庁舎1階ロビーに義援金募金箱を設置しています。寄せられた義援金は日本赤十字社を通じて被災地に送られます。



←ロビーの募金箱、8月24日現在で306,484円の温かい寄付をいただきました



↓(上段)断水地域での給水 (下段) 医院の貯水槽へ給水

↓伐採前の榎の木。樹冠部の葉が落ち、腐朽が進んでいます



↑榎の木伐採後、現在の庁舎玄関前 ↑切り株にできた樹洞

多くの人を迎え、町の歩みを見守った榎の木に感謝

老朽化により庁舎玄関前の榎の木を伐採

庁舎正面玄関前のロータリーに立つ大きな榎の木。この木は役場のシンボルとして長年皆さんを迎え入れてきました。詳しい記録は残っていませんが、昭和50年、現庁舎の建設と併せ整備された玄関前に当時の職員OBや有志の皆さんが植樹したものだと言われています。この50年以上、役場や皆さんを見守ってきた榎の木が数年前から樹冠部の葉や枝が落ち、幹が裂ける症状が出ていました。樹木医の調査で、幹内部の腐朽が進み中心部が空洞化する樹洞が形成されていることが確認されました。樹洞の周りの部分も菌による腐朽が進み強度がおちている状態で、強風や大雨により倒壊するおそれもあり、多くの人が訪れる役場正面玄関の安全を確保するため、8月8日、伐採しました。姿はなくなっても長年役場を見守ってきた榎の木のことを、これからも心の片隅に留めていただければ幸いです。

文芸歳時記

【短歌投稿】

うなりつつ野づらを渡る風の音

人の声とも聞こゆ真夜中

ナンブレで数字入れ替え時間立つ

やるべき家事で立つのは私

秋です、と言われてもまだ暑過ぎて

もうしばらくの夏の日々かな

庶民十円の野菜に勞し

一泊十六万議員ハワイへ何ぞ学ぶか

後の難菊酒召してうっとり

月明かりさし名残惜しけれ

選挙カーの声に應えて現われし

振る手にキュウリ、トマトが見える

【俳句投稿】

まほろばの英彦三岳や星月夜

涼しさや横に座したらすぐ来るよ

百日紅炎天の下華やけり

【川柳投稿】

いい景色眺める巨岩の「花見ヶ岩」

楽しめる十一月までの「りんご狩り」

●10月号に掲載する俳句・短歌・川柳を募集します

9月11日(金)までに役場総務課に投稿してください。

1人一句まで。俳句・短歌・川柳の区分を書いてください。

☎ 役場総務課広報・秘書係 (☎82-4000)



教育のひろば

添田小学校と添田中学校合同で
「心のコンサート」を開催しました

道徳教育の一環として7月13日、小中学校に福岡市を中心に活動する「てみる」のお二人を招き「心のコンサート」を開催しました。コンサートでは、アイリッシュハープとギターの優しい音色に乗せて、保育士・社会福祉士としての経験を活かした2人からの心温まるメッセージが届けられ、静かに耳を傾けていた児童生徒たち。「目を閉じていろいろな事を思い浮かべることであらためて家族の大切さ、生まれてきたことのありがたさ、家族に支えられていること、大切にされていることを感じる事ができました」という感想が聞かれ、自分自身を大切にすることや感謝の気持ちを伝えることの大切さを、音楽を通して頭ではなく心で感じた貴重な時間となりました。



↑音と言葉を通して「自分を大切にすること」を届けている「てみる」のお二人

いざというときのために
救助袋の使用講習会を行いました

7月27日、消防設備保守点検と合わせて小中学校で教職員を対象に救助袋の使用講習会を実施しました。今年6月に東京都北区の小学校で火災が発生したときに、教職員が救助袋を活用できなかったことから、緊急時に備えて防災意識と対応力の向上を図るために実施。救助袋の使用手順や注意点を確認しながら、実際に地上へ脱出。非常時に落ち着いて行動するために、日頃から設備に触れることの重要性を再認識することができました。今後も学校の安全対策と防災体制の強化に努めます。↑4階から地上まで約1分30秒かかりました



問 教育委員会学校教育課 (☎82-5963)

材開発センター
▼相談内容 健診結果や気になる症状、生活習慣の改善に関することなど
図 役場健康子育て応援課健康・子ども保健係(☎31-5001)
【行政相談月間】
巡回相談を実施します
9月1日(火)から10月31日(土)までの2か月間は「行政相談月間」です。町では3か所で、国から委嘱を受けた行政相談委員による巡回相談を行う



います。相談は無料で秘密は厳守されますので、一人で悩まず気軽に相談ください。
【添田町巡回行政相談】
▼津野公民館
10月1日(木)10時～12時
▼彦山地区総合センター
10月1日(木)13時～15時
▼中元寺公民館
10月6日(火)10時～12時
▼相談内容 登記や相続、道路の維持管理や安全対策、年金や税金、行政サービスに関すること、くらしの中で困っていることなど
図 役場福祉環境課福祉・障がい者支援係(☎82-1232)

福岡県土地家屋調査士会
「法の日」無料相談会
福岡県土地家屋調査士会では、今年10月1日からの「法の日」を記念して無料相談会を開催します。
▼とき 10月3日(土)10時～15時
▼ところ 田川青少年文化ホール(田川市)
▼相談内容 境界問題(筆界特定申請手続)土地の分筆・合筆、地積更正、地目変更、建物の新築・



増築・減失の調査・測量、登記手続など
▼相談料 無料/予約不要
図 福岡県土地家屋調査士会(☎092-741-5780)
福岡県土地家屋調査士会田川支部(☎46-2288)
田川調停協会主催
調停手続無料相談会
身近に起こった争いなど、家事および民事の紛争解決手段の一つに調停制度があります。調停制度とは、話し合いで円満に解決する手続きのことです。調停制度とはどのようなもので、利用するときの必要な手続きな

どについて、裁判所から任命された民事調停委員と家事調停委員が無料で相談に応じます。
▼とき 10月7日(火)10時～13時
▼ところ 田川青少年文化ホール(田川市)
▼相談内容 夫婦間のもめごとや遺産相続などの家庭内・親族間の問題、不動産やお金の貸し借り、交通事故をめぐるトラブルなど
▼相談料 無料/予約不要
図 福岡地方裁判所田川支部庶務課(☎42-0163)



試験・募集
自衛官採用試験
◎第3回一般曹候補生
▼試験日 11月28日(土)から12月1日(火)までのいずれか1日
▼受験資格 日本国籍を有する18歳から32歳までの人
▼受付期間 9月15日(火)～11月20日(金)
※自衛官募集に関する説明会を随時開催しています。
ご都合に合わせて個別説明、出張説明も可能です。詳しくは問い合わせください。



図 自衛隊福岡地方協力本部飯塚地域事務所(☎0948-22-4847)
中島家「煉俳句の宴」俳句募集
▼応募句 当季雑詠/1人2句まで
▼応募方法 俳句・住所・氏名・連絡先と11月7日開催の「煉俳句の宴」の出欠を記入して、①郵送、②手渡し、③メール(nbkumatake@outlook.jp)のいずれかで提出
▼提出先 〒824-0601 添田町大字庄958 赤い煉瓦の木村塾 木村直樹宛
※メールで提出する場合は、件



名を「中島家俳句の宴投句」としてください。
▼参加費 1000円
▼募集期限 10月11日(日)
※応募用紙は中島家住宅、オークホール、町立図書館に備えています。用紙を使用せずに応募することも可能です。
◎煉俳句の宴(表彰式・当日句会)
▼とき 11月7日(土)10時～15時
▼ところ 中島家住宅
図 赤い煉瓦の木村塾木村さん(☎080-6417-4012)
市町村対抗福岡駅伝出場者募集
スポーツの総合祭典「市町村対抗福岡駅伝」への出場選手を

募集します。添田町の代表となつて走ってみませんか。
▼とき 11月15日(日)12時スタート(開会式10時)
※原則、雨天決行。
▼コース 県営筑後広域公園周回コース
▼対象者 令和8年8月1日現在、16歳以上で、添田町に在住・在勤または添田町内小中学校出身の人
▼区分と距離 ▽一般男子(19歳以上) ≡5.3kmまたは5.1km ▽一般女子(19歳以上) ≡2.4km ▽シニア(40歳以上) ≡2.7km
▼募集期限 9月30日(火)



※詳しくは問い合わせください。
図 添田町教育委員会社会教育課(☎82-2559)
相談
保健師・管理栄養士に相談してみませんか
毎年9月は健康増進普及月間です。健康に関する悩みはありませんか。保健師と管理栄養士に気軽に相談ください。
▼とき 9月9日(火)10時～12時/要事前予約
▼ところ 添田人



一緒にイベントを盛り上げよう！
「SOEDA-LAN」
ボランティアスタッフ募集

最新のテレビゲームやVR体験、懐かしのアーケードゲームなどが楽しめるeスポーツイベント「SOEDA-LAN」を11月に開催します。eスポーツに興味があり、一緒にイベントを盛り上げてくれるボランティアスタッフを募集します。

▶活動日時 11月14日(土)、15日(日) 各日9時～17時30分
※1日のみの参加も可能です。

▶活動場所 旧添田小学校
▶活動内容 イベントの準備・片付け、会場整理、観客誘導、会場のごみ拾いなど
▶参加条件 高校生以上で事前説明会のいずれかの日に参加できる人
▶募集人数 先着20人
▶謝礼 活動時間に応じた謝礼を支給
▶応募方法 応募フォームにアクセスして氏名、メールアドレスなどの必要事項を入力して送信



事前説明会
▷とき ①11月4日(火)13時30分～ ②11月4日(火)18時～ ③11月7日(土)10時～
▷ところ 添田町役場1階特1会議室
問 役場まちづくり課情報推進係(☎82-5965)

自慢の商品を出品してみませんか
道の駅歓遊舎ひこさん
出品者募集

あなたが作った商品を歓遊舎ひこさんに出品してみませんか。今年度の出品者を募集します。

▶応募資格 町内在住者
▶年間登録費 2,000円
▶受付期間 10月1日(木)～31日(土)
▶受付場所 道の駅歓遊舎ひこさん
※手芸以外の出品者を募集します。
※手続きの受付時間は9時～17時です。不明な点は気軽に問い合わせください。
問 道の駅歓遊舎ひこさん(☎47-7039)



お知らせ

図書館休館日のお知らせ

蔵書点検のため、休館します。

▼休館期間 9月21日(月)～10月5日(月)

※休館に伴い、

9月1日(火)から

20日(日)までは、

貸出冊数を図書・

雑誌を合わせて1人10冊までとします。ぜひご利用ください。

岡町立図書館(☎82-4800)



9月は世界アルツハイマー月間です

認知症は、老化によるものではなく脳の病気です。年齢にかかわらず誰もがなり得る認知症について、一人ひとりが「自分ごと」として理解する必要があります。認知症になってからも、本人の意思が尊重され、住み慣れた環境で自分らしく暮らし続けることができるよう、認知症に対する理解を深めることが大切です。

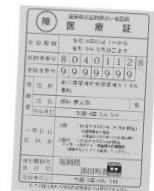


●庁舎にロバ隊長を飾ります
ロバ隊長は、認知症サポーターキャラバンのマスコットキャラクター

ラクターです。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりへの道のりを、隊長として先頭に立って歩いています。ロバのように急がず、一步一步着実にキャラバンも進むという意味が込められています。世界アルツハイマー月間に合わせて、元気倶楽部の参加者の皆さんが作ったロバ隊長を庁舎に展示します
ので、ぜひご覧ください。



▼とき 9月15日(火)13時30分～15時
▼ところ 添田町地域包括支援センター集会室
岡 添田町地域包括支援センター(☎41-3888)
【重度障がい者医療】
更新手続きは原則不要です
毎年8月に重度障がい者医療証の更新手続きをお願いしていましたが、受給者皆さんの負担を軽減するため、令和6年度から原則、手続きなしで更新しています。今年度も所得を確認後、9月中旬に10月1日



以降有効の医療証を送付します。なお、町外から転入した場合など、所得が確認できない人には、手続きをお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。

岡 役場住民課保険年金係(☎82-5966)

掘ったバイ筑豊2026筑豊のお宝紹介!!

筑豊文化財行政連絡協議会では、筑豊地域に残る歴史的文化遗产を多くの皆さんに知ってもらう、文化財の保存と活用を啓発を図るため、パネル展示を行います。

▼期間 9月17日(木)～11月24日

英彦山 秋の自然観察会
筑豊地区地域環境協議会では、身近な自然との触れ合いを通して自然環境の大切さや生物多様性を学ぶ「英彦山 秋の自然観察会」を開催します。秋の彩り美しい林野を散策しながら、専門家の解説付きで英彦山の希少な植物などを観察します。清々しい



eLTAXサービス停止のお知らせ

システムの更改のため、次の期間はeLTAXのサービスが停止されます。期間中はeLTAXおよびeL-QRを使った電子申告や電子納付などの手続きができません。利用予定の人は、サービス停止期間を考慮した手続きをお願いします。

▼サービス停止期間 9月19日(土)0時～24日(木)8時30分

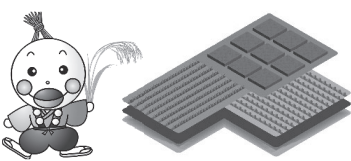
※詳しくは地方税共同機構のホームページを確認ください。

岡 役場住民課税務・滞納対策係(☎82-1234)



【8月10日(月)開催 総会審議結果】
▼農地法第3条にかかる所有権の移転
・2件/面積1438㎡を許可
※総会の議事録は、町ホームページで公開しています。
※10月開催の総会にかかる農地申請の締め切りは、9月25日(金)です。

岡 添田町農業委員会(☎82-1237)



人の動き

7月末日現在()は前月比

●人 口 7,935人(－17人) ●出生 1人
●男 性 3,758人(－7人) ●死亡 15人
●女 性 4,177人(－10人) ●転入 12人
●世帯数 4,272世帯(+2世帯) ●転出 14人

相談

●心配ごと相談(そえだジョイ/10時～15時)
9月15日(火)、10月6日(火)
●補聴器相談(役場ロビー)
9月11日(金)(15時～)、10月19日(月)(13時～)
●無料法律相談会
(福岡法務局田川支局/13時～16時)
9月8日(火)、10月13日(火)
※利用条件あり。詳しくは問い合わせください。
岡 法テラス福岡(☎050-3383-5502)
●こころの健康相談(田川保健福祉事務所/予約制)
9月8日(火)(10時～)、9月24日(木)(14時～)
岡 田川保健福祉事務所健康増進課(☎42-9307)

納期限のお知らせ

●9月30日(水)が納期限です
▷固定資産税(3期)
▷国民健康保険税(3期)
▷後期高齢者医療保険料(3期)
□座振替は9月25日(金)です
岡 役場住民課税務・滞納対策係(☎82-1234)

警察署からのお知らせ

●国際電話を悪用した電話詐欺を防ぎましょう
«国際電話番号の着信を拒否しましょう»
無料で固定電話への国際電話番号の着信を拒否できます。国際電話不取扱受付センター(☎0120-210-364)に申し込みください。添田警部交番や田川警察署でも手続きの支援を行っています。

6月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種 類	発生件数	今年の累計
物件事故	12(－3)	79
人身事故	1(－1)	7
死亡者	0(±0)	0
負傷者	1(－1)	10

岡 田川警察署(☎42-0110)

花火大会に関するお知らせ

今年度の花火大会は、開催を見送ります。安全で魅力的なイベントの実施に向け、検討を進めてまいります。開催を楽しみにされていた方には大変申し訳ありませんがご理解いただきますようお願いいたします。

岡 役場商工観光振興課観光振興係(☎82-1236)

広報そえだ
町長室

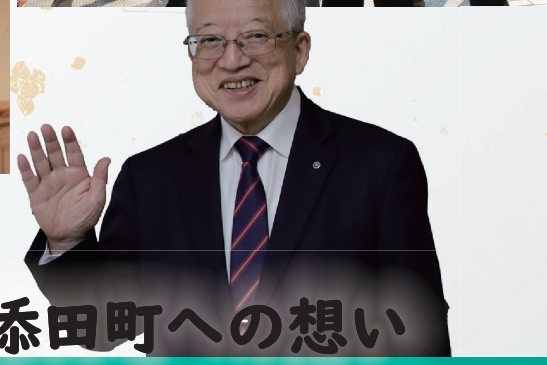
未来へつなげるまちづくり

最も大きな課題の一つが人口減少でした。そこで私は、若い世代に添田町へ住んでいただきたいという想いから、若者定住住宅の整備を進めました。

私は人口減少そのものよりも、人口構成に危機感を持っています。特に20代から50代のみなさんです。働き、家庭を築き、地域を支える世代が減ることが最も大きな問題です。高齢者が安心して暮らせる町はもちろん大切です。しかし、それだけでは町は維持できません。若い世代が添田町に住みたい、帰ってきたい、子育てしたいと思える町にしなければなりません。

添田町には自然があります。歴史があります。人の温かさがあります。都市部にはない魅力があります。その魅力を活かしながら、移住定住を進めて行く必要があります。私はこれからのまちづくりは女性の視点がますます重要になると思っています。子育て、教育、医療、福祉、買い物、交通。日々の暮らしに最も近いところで地域を見ているのは女性の皆さんです。女性が働きやすい。子育てしやすい。地域活動に参加しやすい。そんな町をつくるのが、結果として若い世代を呼び込み、人口維持にもつながると思います。女性が元気な地域は元気です。女性が活躍できる町は強い町です。ぜひ今後の町政でも重要な視点として取り組んで頂きたいと思っています。

私は一箇所に全てを集めるまちづくりが正解だとは思っていません。もちろん効率化は必要です。しかし添田町は広い町です。英彦山地区もあれば津野地区もあります。中元寺地区もあります。それぞれに歴史があり文化があります。



寺西明男町長 8月21日退任
16年間の感謝を胸に 未来へ託す添田町への想い

未来を守るための決断

平成29年の九州北部豪雨では、田彦山線が被災しました。鉄道復旧を望む声は非常に強く、私自身も鉄道で復旧してほしいという思いを持っていました。しかし、現実を見たとき、鉄道復旧は極めて厳しい状況でした。BRT導入には多くの反対意見がありました。それでも私は、交通そのものを失ってはいけないという思いで決断しました。今振り返ると、あの時の判断は簡単なものではありませんでしたが、地域交通を残すための苦渋の決断だったと思います。

まづぐくに完成はありません。どの事業もまだ途中です。大切なのは、次の世代がしっかりと受け継ぎ、さらに発展させていこうと強く思っています。

さて、これからの添田町の課題は何でしょうか。

私がよく申し上げてきた「にぎやかな過疎」という言葉もそこにあります。人口が減っても元気がなくなる必要はありません。高齢者も若者も子どもも、それぞれが役割を持ち、笑顔で暮らせる。そんな町を目指すことは十分可能だと思っています。

最後になります。16年間、多くの皆さんに支えて

いただきました。時には厳しいご意見もいただきました。しかし、その全てが添田町を思う気持ちだったと感謝しています。添田町は、個人のものでありません。次の世代の皆さんのものです。どうか人口減少だからと諦めないで下さい。どうか添田町には未来があるという自信を持って下さい。人口が減ることだけを嘆くのではなく、この町に住み続けたい、この町で子どもを育てたい、この町で歳を重ねたいと思える添田町をつくる。その挑戦をこれからも続けていただきたいと思います。私はその土台づくりに16年間取り組んで来たつもりです。そして、今進めている取り組みや、これから必要となる課題に対し、行政だけに任せるのではなく、皆さん一人ひとりがまちづくりの主役として関わって頂きたいと思います。

添田町にはまだまだ可能性があります。私はそう信じています。16年間、本当にありがとうございました。

寺西明男



◇発行／添田町 ◇編集／総務課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 21-51 番地
☎ 0947-82-1231 FAX0947-82-2869
ホームページ <https://www.town.soeda.tokunaka.jp>

添田を背負う誇り

「添田山」として始まった挑戦 土俵で輝く未来



ふくだ ゆうせい 改め そえだやま せいいち
福田 優聖 添田山 聖一（秀ノ山部屋）

名古屋場所から新たな四股名で土俵に上がりました

【故郷と相撲道を結ぶ四股名に込めた想い】

▷添田町の「添田」 ▷英彦山、秀ノ山部屋の「山」

▷礼節・品格・精神力の「聖」 ▷一番・一本芯・初心の「一」、【故郷への想いと多くの方々への感謝を忘れず、礼節を大切にし、初心を忘れず、一步一步上を目指して成長していく】という願いが込められています。



↑8月6日に19歳を迎えた添田山さん。部屋でお祝い的一幕（秀ノ山部屋公式Instagramより）
名古屋場所後尾張猿田彦→神社に宿舎を構え、稽古に励む秀ノ山部屋の力士たち（秀ノ山部屋公式Instagramより）
←8月14日、添田町役場を訪れた添田山さん



相撲部屋「秀ノ山部屋」（秀ノ山親方／元大関琴奨菊）所属の添田山聖一さん（本名／福田優聖、上中元寺）が3月の初場所以降の近況報告を寺西町長に報告するため、添田町役場を訪れました。

3月大阪場所の初土俵後、東序ノ口十六枚目で迎えた5月場所は5勝2敗、四股名を「添田山」に変更し、東序二段六十六枚目で迎えた7月名古屋場所も5勝2敗で勝ち越し、9月場所ではさらに番付を上げることが報告した添田山さん。寺西町長から「半年前にお会いしたときよりも身体が一回り大きくなった。髪も伸び、相撲取りらしくなってきた。初場所から注目して見えています。四股名も添田山になり、これからも地元『添田町』を背負って頑張っていたきたい。9月場所も期待しています」と激励を受けると「今は月曜から金曜まで相撲練習所に通い、週末は部屋の稽古で充実しています。前に出る相撲をとるため、下半身や腰を中心に鍛えています。本場所での真剣勝負では負けも経験しました。自分の良いところを伸ばし、悪いところを直していけるよう取り組んでいます」と19歳を迎えたばかりの青年とは思えないほどしっかりした考えを持っている添田山さん。「部屋での集団生活は高校が寮生活だったので慣れていますが、東京の人の多さには慣れません。添田に帰ってくると、とても落ち着きます」と都会暮らしの苦労も、「勝ちを重ね関取になることが目標です。そのために今には上に行くための体づくりに励みます」と力強く抱負を話してくれました。

↓↓↓↓ 添田山が所属する秀ノ山部屋の情報は↓↓↓↓



←秀ノ山部屋公式ホームページ。所属力士の紹介など情報盛りだくさん



←秀ノ山部屋公式Instagram。日々の活動や所属力士の成長記録など、情報発信中



←秀ノ山部屋公式Facebook。Instagramと同様に、たくさんの情報を発信中



←秀ノ山部屋ちゃんねる。YouTubeでしか見られない力士の素顔や成長の記録